

最高顧問兼理事 柳沢正史先生（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構）

2026 年アルバート・ラスカー基礎医学研究賞 受賞のお知らせ

一般社団法人 Sleep Innovation Platform®は、当団体最高顧問兼理事である柳沢正史先生（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構長）が、2026 年アルバート・ラスカー基礎医学研究賞を受賞されましたことをお知らせいたします。

柳沢先生は、脳内で覚醒維持を促す神経ペプチド「オレキシン」を発見し、その欠乏がナルコレプシー・過眠症の発病に関わることを解明されました。この研究成果は、睡眠覚醒調節の仕組みに関する学術的理解を深めるとともに、オレキシン受容体拮抗薬やオレキシン受容体作動薬といった治療薬の開発にもつながり、基礎研究の成果が臨床応用に結実した点が評価されています。

（参考：筑波大学 HP より <https://www.tsukuba.ac.jp/journal/awards/20260909210000.html>）

当団体は、柳沢先生に最高顧問兼理事として長年にわたりご支援いただいております、この度の受賞を心よりお祝い申し上げます。

一般社団法人 Sleep Innovation Platform®は、柳沢先生をはじめとする研究者の方々と連携しながら、睡眠科学の発展と社会への貢献に努めてまいります。